



Dominion® KX II-101-V2

クイック セットアップ ガイド

KX II-101-V2™ をお買い上げいただき、ありがとうございます。多彩な機能を備えた、エンタープライズ クラスのセキュア デジタル KVM (キーボード/ビデオ/マウス) スイッチです。

このクイック セットアップ ガイドでは、KX II-101-V2 のインストール方法と設定方法について説明します。KX II-101-V2 の詳細については、『KX II-101-V2 ユーザ ガイド』を参照してください。このユーザ ガイドは、Raritan Web サイトの Firmware and Documentation [ファームウェアおよびマニュアル] セクション (<http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/>) からダウンロードできます。

手順 1: ターゲット サーバの設定

最適な帯域効率とビデオ パフォーマンスを得るために、Windows、X-Windows、Solaris、および KDE などのグラフィカル ユーザ インタフェースを実行するターゲット サーバは、デスクトップの背景を無地でシンプルな明るい色の表示に設定します。写真や複雑な階調を持つ背景は避けてください。

サーバのビデオ解像度と更新レートが KX II-101-V2 でサポートされていることと、信号がノンインタレースであることを確認します。KX II-101-V2 でサポートされている画面解像度は次のとおりです。

解像度	
640x350, 70Hz	1024x768, 85Hz
640x350, 85Hz	1024x768, 75Hz
640x400, 56Hz	1024x768, 90Hz
640x400, 84Hz	1024x768, 100Hz
640x400, 85Hz	1152x864, 60Hz
640x480, 60Hz	1152x864, 70Hz
640x480, 66.6Hz	1152x864, 75Hz
640x480, 72Hz	1152x864, 85Hz
640x480, 75Hz	1152x870, 75.1Hz
640x480, 85Hz	1152x900, 66Hz
720x400, 70Hz	1152x900, 76Hz
720x400, 84Hz	1280x720, 60Hz

解像度	
720x400, 85Hz	1280x960, 60Hz
800x600, 56Hz	1280x960, 85Hz
800x600, 60Hz	1280x1024, 60Hz
800x600, 70Hz	1280x1024, 75Hz
800x600, 72Hz	1280x1024, 85Hz
800x600, 75Hz	1360x768, 60Hz
800x600, 85Hz	1366x768, 60Hz
800x600, 90Hz	1368x768, 60Hz
800x600, 100Hz	1400x1050, 60Hz
832x624, 75.1Hz	1440x900, 60Hz
1024x768, 60Hz	1600 x 1200, 60Hz
1024x768, 70Hz	1680x1050, 60Hz
1024x768, 72Hz	1920x1080, 60Hz

マウス モード

KX II-101-V2 は、次のマウス モードで動作します。ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization™)、インテリジェント マウス モード、および標準マウス モード。

注:インテリジェント マウス モードを使用している際は、アニメーション カーソルを使用しないでください。

Absolute Mouse Synchronization の場合は、マウス パラメータを変更する必要はありません。標準マウス モードとインテリジェントマウス モードの場合、このセクションで説明するマウス パラメータを特定の値に設定する必要があります。

マウス設定は、さまざまなターゲット オペレーティング システムによって異なります。詳細については、使用する OS のマニュアルを参照してください。

Microsoft Windows 7 および Windows Vista の設定

▶ Windows Vista® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。

1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
 - b. 左側のナビゲーション パネルから [システムの詳細設定] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
 - c. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
 - d. [速度] グループで、以下の操作を行います。
 - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - [ポインタの精度を高める] チェック ボックスをオフにします。
 - [OK] をクリックします。
2. アニメーション効果とフェード効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル] の [システム] オプションを選択します。
 - b. [パフォーマンス情報] を選択し、[ツール]、[詳細ツール]、[調整] の順に選択し、Windows の外観とパフォーマンスを調整します。
 - c. [詳細設定] タブをクリックします。
 - d. [パフォーマンス] グループの [設定] をクリックして、[パフォーマンス オプション] ダイアログ ボックスを開きます。
 - e. [カスタム] オプションで、以下のチェック ボックスをオフにします。
 - アニメーション関連のオプション:
 - [Windows 内のアニメーション コントロールと要素]
 - [ウィンドウを最大化や最小化するときにアニメーションで表示する]
 - フェード関連のオプション:
 - [メニューをフェードまたはスライドして表示する]
 - [ヒントをフェードまたはスライドで表示する]
 - [メニュー項目をクリック後にフェードアウトする]
3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。

▶ Windows 7® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。

1. マウスの設定を行います。

- a. [スタート]、[コントロール パネル]、[ハードウェアとサウンド]、[マウス] の順に選択します。
 - b. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
 - c. [速度] グループで、以下の操作を行います。
 - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - [ポインタの精度を高める] チェック ボックスをオフにします。
 - [OK] をクリックします。
2. アニメーション効果とフェード効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル]、[システムとセキュリティ] を選択します。
 - b. [システム] を選択し、左側のナビゲーション パネルから [システムの詳細設定] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
 - c. [詳細設定] タブをクリックします。
 - d. [パフォーマンス] グループの [設定] ボタンをクリックして、[パフォーマンス オプション] ダイアログ ボックスを開きます。
 - e. [カスタム] オプションで、以下のチェック ボックスをオフにします。
 - アニメーション関連のオプション:
 - [Windows 内のアニメーション コントロールと要素]
 - [ウィンドウを最大化や最小化するときにアニメーションで表示する]
 - フェード関連のオプション:
 - [メニューをフェードまたはスライドして表示する]
 - [ヒントをフェードまたはスライドで表示する]
 - [メニュー項目をクリック後にフェードアウトする]
 3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。

Windows XP、Windows 2003、および Windows 2008 の設定

▶ Windows XP®、Windows 2003®、および Windows 2008® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。

1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
 - b. [ポインタ オプション] タブをクリックします。
 - c. [速度] グループで、以下の操作を行います。
 - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - [ポインタの精度を高める] チェック ボックスをオフにします。
 - [動作] のオプションを無効にします。
 - [OK] (OK) をクリックします。

2. アニメーション効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル] の [画面] オプションを選択します。
 - b. [デザイン] タブをクリックします。
 - [効果] ボタンをクリックします。
 - [次のアニメーション効果をメニューとヒントに使用する] オプションをオフにします。
3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。

注: Windows XP、Windows 2000、または Windows 2008 を実行している KVM ターゲット サーバの場合、KX II-101-V2 を介したリモート接続用に、専用のユーザ名を作成することが可能です。これにより、ターゲット サーバのマウス ポインタの速度や加速を KX II-101-V2 接続用に遅く設定できます。

Windows XP、2000、および 2008 のログイン ページでは、マウスのパラメータが、最適な KX II-101-V2 パフォーマンス用に提案されたパラメータとは異なる、プリセットされたパラメータに戻ります。この結果、これらの画面ではマウスの同期は最適ではありません。

注: Windows KVM ターゲット サーバのレジストリを調整してもかわらない場合のみ、次の操作を行ってください。Windows レジストリエディタを使って次の設定を変更することにより、ログイン ページで KX II-101-V2 のマウスの同期を改善することができます。

```
HKEY_USERS¥.DEFAULT¥Control Panel¥Mouse:> MouseSpeed = 0、MouseThreshold 1=0、MouseThreshold 2=0。
```

Windows 2000 の設定

▶ Windows 2000® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには

1. マウスの設定を行います。
 - a. [スタート]、[コントロール パネル]、[マウス] の順に選択します。
 - b. [Motion] (動作) タブをクリックします。
 - アクセラレーションを [なし] に設定します。
 - ポインタの速度設定をちょうど中間の速度に設定します。
 - [OK] (OK) をクリックします。
2. アニメーション効果を無効にします。
 - a. [コントロール パネル] の [画面] オプションを選択します。
 - b. [効果] タブをクリックします。
 - [次のアニメーション効果をメニューとヒントに使用する] オプションをオフにします。
3. [OK] をクリックして、[コントロール パネル] を閉じます。

Linux の設定

▶ Linux® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。

- (標準マウス モードのみ) マウスの加速値を正確に 1 に設定し、しきい値も正確に 1 に設定します。コマンド「`xset mouse 1 1`」を入力します。このコマンドは、ログイン時の実行用に設定する必要があります。

Sun Solaris の設定

マウスの加速値をちょうど 1 に設定し、しきい値もちょうど 1 に設定します。Solaris オペレーティング システムを実行しているターゲット サーバのビデオ出力は VGA (コンポジット Sync ではなく H-and-V Sync) である必要があります。これは、グラフィカル ユーザ インタフェースで設定するか、コマンド ライン `xset mouse a t` を使用して設定します。ここで、*a* は加速値、*t* はしきい値です。

Apple Macintosh の設定

Mac® は「初期状態のまま」KX II-101-V2 と連動します。ただし、ずれないマウス (Absolute Mouse Synchronization) を使用して、[KX II-101-V2 Port] (KX II-101-V2 ポート) ページでずれないマウス モードおよび Mac サーバのずれないマウス スケーリングを有効にする必要があります。

▶ この設定を有効にするには、以下の手順に従います。

1. [Device Settings] (デバイス設定) の [Port Configuration] (ポート設定) を選択します。[Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。
2. 編集するポートの [Port Name] (ポート名) をクリックします。
3. [USB Connection Settings] (USB 接続設定) セクションで、[Enable Absolute Mouse] (ずれないマウスを有効にする) チェックボックスと [Enable Absolute mouse scaling for MAC server] (Mac サーバのずれないマウス スケーリングを有効にする) チェックボックスをオンにします。[OK] をクリックします。

IBM AIX の設定

▶ IBM AIX® を実行している KVM ターゲット サーバを設定するには、以下の手順に従います。

- [Style Manager] を開き、[マウスの設定] をクリックします。[マウスの加速] を 1.0 に設定し、[しきい値] を 3.0 に設定します。

手順 2: ネットワーク ファイアウォールの設定

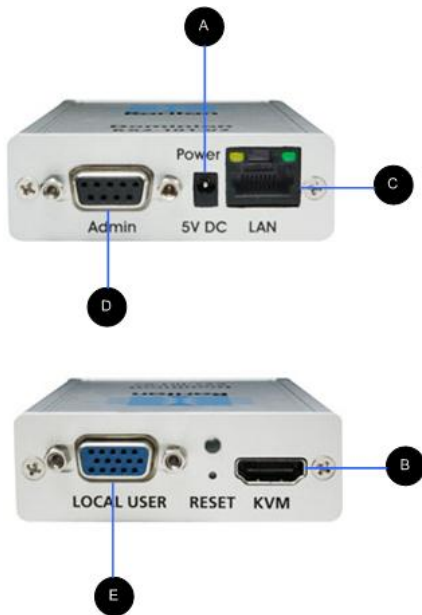
ネットワーク ファイアウォールを介して KX II-101-V2 にアクセスするには、ファイアウォールが TCP ポート 5000 での通信を許可している必要があります。または、KX II-101-V2 を設定して、指定した別の TCP ポートを使用することができます。

KX II-101-V2 の Web アクセス機能を利用するには、ファイアウォールで TCP ポート 443 (HTTPS 通信用の標準 TCP ポート) のインバウンド通信が許可されている必要があります。KX II-101-V2 で HTTP 要求を HTTPS にリダイレクトする機能 (これにより、ユ

ーザは <https://xxx.xxx.xxx.xxx> の代わりに、より一般的な <http://xxx.xxx.xxx.xxx> を入力できます) を利用するには、ファイアウォールで TCP ポート 80 (HTTPS 通信用の標準 TCP ポート) のインバウンド通信も許可されている必要があります。

手順 3: 装置の接続

KX II-101-V2 には、下の図に示す物理接続が用意されています。図中の各文字は、ここで説明する機器接続プロセスの各手順に対応しています。



図の説明

A	電源コネクタ	単一の電源アダプタ。
B	モニタ、PS/2、USB コネクタ付きの KVM ケーブル (付属)	提供されている KVM ケーブルをターゲット サーバのキーボード、ビデオ、マウスの各ポートに接続します。
C	Ethernet LAN	LAN に接続できます。
D	管理ポート	次のいずれかの作業を行うために使用します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定用の PC 上でターミナル エミュレーション プログラムを使用してデバイスを設定および管理を実行します。 電源タップの設定および管理を行います (別売のアダプタが必要です)。 デバイスにダイヤルインする外部モ

図の説明

		デムを接続します。
E	ローカル ユーザ	ローカル ポートからモニタに接続します。

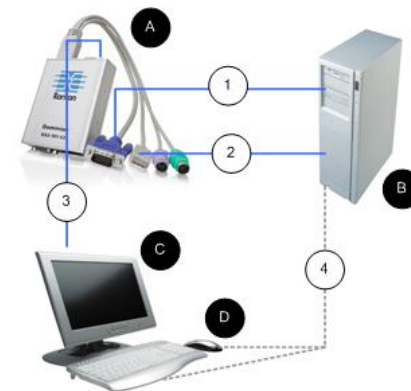
A: 電源

KX II-101-V2 には、デバイスに用意されている 100 ~ 240V AC 入力/5V DC 出力の電源アダプタによって電力が供給されます。標準の AC 電源の場合は、付属の AC 電源アダプタを電源ポートに差し込み、反対側を近くの AC 電源コンセントに差し込みます。

B: ターゲット サーバ

PS/2 または USB を使用してターゲットに接続します。接続する前に、ターゲット サーバのビデオをサポートされている解像度に設定します。仮想メディアまたはずれないマウス モードを使用している場合は、USB 接続を使用します。

USB の設定



▶ USB ターゲット サーバに KX II-101-V2 を設定するには、以下の手順に従います。

1. 付属のビデオ ケーブルを使用して KX II-101-V2 をターゲット ビデオ ポートに接続します。
2. KVM ケーブルの USB コネクタを KX II-101-V2 に、およびターゲット サーバの USB ポートに接続します。
3. ローカル ビデオを使用する必要がある場合は、モニタを KX II-101-V2 のローカル ユーザ ポートに接続します。(オプション)
4. USB キーボードおよびマウスをターゲットに直接接続します。(オプション)

注:仮想メディアを使用している場合は、USB 接続を使用する必要があります。

USB 接続に関する図の説明

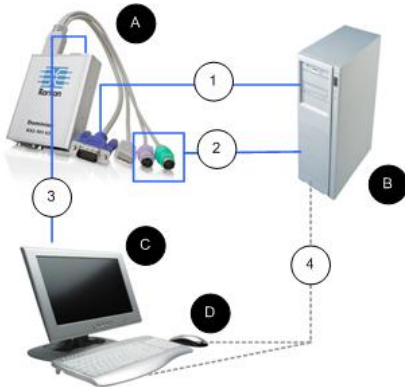
A	KX II-101-V2
B	ターゲット サーバ
C	ローカル モニタ (オプション)
D	ローカル マウスおよびキーボード (オプション)
1	KX II-101-V2 からターゲットへのビデオ接続
2	KX II-101-V2 からターゲットへの USB 接続
3	KX II-101-V2 のローカル ユーザ ポートからモニタへのオプションのモニタ接続
4	ターゲット サーバからマウスおよびキーボードへのオプションの USB 接続 (ケーブルは別売)

注:仮想メディアを使用している場合は、USB 接続を使用する必要があります。

PS/2 接続に関する図の説明

A	KX II-101-V2
B	ターゲット サーバ
C	ローカル モニタ
D	ローカル マウスおよびキーボード (オプション)
1	KX II-101-V2 からターゲットへのビデオ接続
2	KX II-101-V2 からターゲット サーバへの KVM ケーブル接続
3	KX II-101-V2 からモニタへのオプションの接続
4	ターゲットからキーボードおよびマウスへのオプションの PS/2 - USB アダプタ接続 (ケーブルは別売)

PS/2 の設定



▶ PS/2 ターゲット サーバで使用するように KX II-101-V2 を設定するには、以下の手順に従います。

1. 付属のビデオ ケーブルを使用して KX II-101-V2 をターゲット ビデオ ポートに接続します。
2. KVM ケーブルの PS/2 コネクタをターゲットの PS/2 ポートに接続します。
3. ローカル ビデオを使用する必要がある場合は、モニタを KX II-101-V2 のローカル ユーザ ポートに接続します。(オプション)
4. PS/2 キーボードおよびマウスがある場合は、PS/2 - USB アダプタ(別売)を使用してターゲットの USB ポートに直接接続します。(オプション)

C: ネットワーク

標準 Ethernet ケーブルを、「LAN」のラベルの付いたネットワークポートから、Ethernet スイッチ、ハブ、またはルータに接続します。Ethernet 接続の上にある LAN LED は Ethernet のアクティビティを示します。KX II-101-V2 の使用中は、黄色の LED が点滅し、10 Mbps の IP トラフィックを示します。緑色のライトは 100 Mbps の接続速度を示します。

D:管理ポート

Admin ポートを使用すると、HyperTerminal のようなターミナル エミュレーション プログラムを使用して、KX II-101-V2 の設定とセットアップを実行できます。1 本の DB9M - DB9F ストレート シリアル ケーブルを使用して、KX II-101-V2 から PC またはラップトップのシリアル ポートに接続します。シリアル ポート通信の設定は、次のように設定する必要があります。

- 115,200 Baud
- 8 データ ビット
- 1 ストップ ビット
- パリティなし
- フロー制御なし

E: ローカル ユーザ ポート

ローカル ユーザ ポートは、モニタに直接接続するための、ターゲット サーバ ビデオへのパススルーとして機能します。ローカルのキーボードとマウスは、ターゲット サーバに直接接続する必要があります。

USB 設定の場合、ローカル ビデオのみをローカル ユーザ ポートでターゲット サーバに接続します。キーボードとマウスは、USB ポートを使用してターゲット サーバに直接接続します。

手順 4: KX II-101-V2 の設定

注: Web ブラウザを介して KX II-101-V2 を設定している場合は、KX II-101-V2 とクライアントの間にクロスオーバー ケーブルを使用する必要があります。

リモート コンソールを使用して KX II-101-V2 を設定する

KX II-101-V2 リモート コンソールは、デバイスを使用および管理する前に設定できる Web ベースのアプリケーションです。リモート コンソールを使用して KX II-101-V2 を設定する前に、ワークステーションとデバイスをネットワークに接続しておく必要があります。

ターミナル エミュレーション プログラムを使用して KX II-101-V2 を設定することもできます。詳細については、「[ターミナル エミュレーション プログラムを使用して KX II-101-V2 を設定する \(オプション\)](#)」『8p.』を参照してください。

新しいパスワードの設定

リモート コンソールに最初にログインすると、デフォルトのパスワードに代わる新しいパスワードの設定を確認するプロンプトが表示されます。次に、KX II-101-V2 を設定できます。

1. KX II-101-V2 デバイスにネットワーク接続されているワークステーションにログインします。
2. サポートされている Web ブラウザ (Internet Explorer® (IE) や Firefox® など) を起動します。
3. ブラウザのアドレス フィールドに、デバイスのデフォルトの IP アドレス「192.168.0.192」を入力します。
4. Enter キーを押します。ログイン ページが開きます。
5. ユーザ名に「admin」、パスワードに「raritan」と入力します。
6. [Login] (ログイン) をクリックします。[Change Password] (パスワードの変更) ページが表示されます。
7. [Old Password] (旧パスワード) フィールドに「raritan」と入力します。
8. [New Password] (新しいパスワード) フィールドと [Confirm New Password] (新しいパスワードの確認) フィールドに新しいパスワードを入力します。パスワードには、英数字と印刷可能な特殊文字を 64 文字まで使用できます。
9. [Apply] (適用) をクリックします。パスワードが正常に変更された旨のメッセージが表示されます。

10. [OK] をクリックします。[Port Access] (ポート アクセス) ページが開きます。

IP アドレスの割り当て

▶ IP アドレスを割り当てるには、次の手順に従います。

1. [Device Settings] (デバイス設定) の [Network] (ネットワーク) を選択します。[ネットワーク設定] (Network Settings) ページが開きます。
2. KX II-101-V2 デバイスにわかりやすいデバイス名を指定します。最大 32 文字の英数字と有効な特殊文字を組み合わせて使用できます。スペースは使用できません。
3. [IPv4] (IPv4) セクションで、IPv4 固有の適切なネットワーク設定を入力するか、選択します。
 - a. 必要に応じて IP アドレスを入力します。デフォルトの IP アドレスは「192.168.0.192」です。
 - b. サブネット マスクを入力します。デフォルトのサブネット マスクは「255.255.255.0」です。
 - c. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウンから [None] (なし) を選択した場合は、デフォルトのゲートウェイを入力します。
 - d. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) ドロップダウンから [DHCP] (DHCP) を選択した場合は、優先ホスト名を入力します。
 - e. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。次のオプションを使用できます。
 - [None] (なし) (静的 IP) - このオプションを選択した場合は、ネットワーク パラメータを手動で指定する必要があります。

KX II-101-V2 はインフラストラクチャ デバイスであり、IP アドレスは変更されないため、このオプションが推奨されます。
 - [DHCP] (DHCP) - DHCP サーバから一意の IP アドレスとその他のパラメータを取得するために、ネットワークに接続しているコンピュータ (クライアント) によって Dynamic Host Configuration Protocol が使用されます。

このオプションを選択した場合、ネットワーク パラメータは DHCP サーバによって割り当てられます。DHCP を使用する場合は、[Preferred host name] (優先ホスト名) を入力します (DHCP のみ)。最大 63 文字まで使用できません。
4. IPv6 を使用する場合は、[IPv6] セクションで、適切な IPv6 固有のネットワーク設定を入力するか、選択します。
 - a. セクション内のフィールドを有効にするには、[IPv6] チェックボックスをオンにします。
 - b. [Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス) を入力します。これは、KX II-101-V2 に割り当てられる IP アドレスです。
 - c. [Prefix Length] (固定長) を入力します。これは、IPv6 アドレスで使用されるビット数です。

- d. [Gateway IP Address] (ゲートウェイ IP アドレス) を入力します。
- e. [Link-Local IP Address] (リンク - ローカル IP アドレス)。このアドレスは、自動的にデバイスに割り当てられます。これは、近隣探索、またはルータが存在しない場合に使用されます。[Read-Only] (読み取り専用)
- f. [Zone ID]。これは、アドレスが関連付けられているデバイスを識別します。[Read-Only] (読み取り専用)
- g. [IP Auto Configuration] (IP 自動設定) を選択します。次のオプションを使用できます。
 - [None] (設定しない) - 自動 IP 設定を使用せず、IP アドレスを自分で設定する場合は、このオプションを選択します (静的 IP)。推奨されるデフォルトのオプションです。
[IP auto configuration] (IP 自動設定) で [None] (設定しない) を選択すると、[Network Basic Settings] (ネットワーク基本設定) フィールド ([Global/Unique IP Address] (グローバル/一意の IP アドレス)、[Prefix Length] (固定長)、[Gateway IP Address] (ゲートウェイ IP アドレス)) が有効になり、IP アドレスを手動で設定できるようになります。
 - [Router Discovery] (ルータ検出) - このオプションを使えば、グローバルな IPv6 アドレスまたは、ローカルにリンクしたアドレスを大きく超えるユニーク ローカルの IPv6 に自動的に割り当てられます。これはサブネットへの直接接続に限定して適用されます。
5. [DHCP] が選択され、[Obtain DNS Server Address] (DNS サーバ アドレスを取得) が有効になっている場合は、[Obtain DNS Server Address Automatically] (DNS サーバ アドレスを自動的に取得) を選択します。[Obtain DNS Server Address Automatically] (DNS サーバ アドレスを自動的に取得) が選択されると、DHCP サーバが提供する DNS 情報が使用されます。
6. [Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレスを使用) を選択する場合は、[DHCP] が選択されているかどうかにかかわらず、このセクションに入力されたアドレスが、DNS サーバの接続に使用されます。
[Use the Following DNS Server Addresses] (次の DNS サーバ アドレスを使用) オプションを選択する場合は、次の情報を入力します。これらのアドレスは、停電によりプライマリ DNS サーバ接続が切断された場合に使用されるプライマリおよびセカンダリ DNS アドレスです。
 - a. [Primary DNS Server IP Address] (プライマリ DNS サーバ IP アドレス)
 - b. [Secondary DNS Server IP Address] (セカンダリ DNS サーバ IP アドレス)
7. 完了したら [OK] をクリックします。これで、KX II-101-V2 デバイスからネットワークにアクセスできるようになります。クロスオーバー ケーブルを取り外し、Cat5 ケーブルを使用して KX II-101-V2 をスイッチに接続します。

日付/時刻の設定 (オプション)

必要に応じて、日付と時刻を設定します。日付と時刻の設定は、LDAPS が有効になっている場合に SSL 証明書の検証に影響します。

▶ 日付と時刻を設定するには、以下の手順に従います。

1. [デバイス設定] の [日付/時刻] を選択します。[日付/時刻の設定] ページが開きます。
2. [タイム ゾーン] ドロップダウン リストから適切なタイム ゾーンを選択します。
3. 夏時間用の調整を行うには、[夏時間用の調整] チェックボックスをオンにします。
4. 日付と時刻の設定で用いる方法を選択します。
 - [ユーザによる時刻定義]: 日付と時刻を手動で入力するには、このオプションを選択します。[ユーザによる時刻定義] オプションを選択した場合は、日付と時刻を入力します。時刻は、hh:mm の形式を使用します (24 時間制で入力します)。
 - [NTP サーバと同期]: 日付と時刻をネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバと同期するには、このオプションを選択します。
5. [NTP サーバと同期] オプションを選択した場合は、以下の手順に従います。
 - a. プライマリ タイム サーバの IP アドレスを入力します。
 - b. セカンダリ タイム サーバの IP アドレスを入力します。(オプション)
6. [OK] をクリックします。

ターゲット サーバに名前を付ける

1. KX II-101-V2 をターゲット サーバに接続します。
2. [Device Settings] (デバイス設定) の [Port Configuration] (ポート設定) を選択します。[Port Configuration] (ポート設定) ページが開きます。
3. ターゲット サーバのポート名をクリックします。[Port] (ポート) ページが開きます。
4. 名前を入力します。英数字と特殊文字を 32 文字まで入力できます。
5. [OK] をクリックします。

ユーザ グループおよびユーザを作成する

KX II-101-V2 にアクセスするためには、初期設定の一環としてユーザ グループおよびユーザを定義する必要があります。

KX II-101-V2 では、システムによって定義されているデフォルトのユーザ グループを使用して、グループの作成および目的に合った適切な許可の指定を行えるようになります。

KX II-101-V2 にアクセスするには、ユーザ名とパスワードが必要です。この情報は、KX II-101-V2 にアクセスしようとしているユーザを認証するために使用されます。

▶ **新規ユーザ グループを追加するには、以下の手順に従います。**

- [Group] (グループ) ページを開くには、[User Management] (ユーザ管理) の [Add New User Group] (新規ユーザ グループの追加) を選択するか、[User Group List] (ユーザ グループ リスト) ページの [Add] (追加) ボタンをクリックします。
[Group] (グループ) ページは、[Group] (グループ)、[Permissions] (許可)、[Port Permissions] (ポート許可)、および [IP ACL] (IP ACL) のカテゴリに分かれています。
- [Group Name] (グループ名) フィールドに、新しいユーザ グループのわかりやすい名前を入力します。
- グループの許可を設定します。このグループに属するすべてのユーザに対して割り当てる許可の左にあるチェックボックスをオンにします。
- ポートの許可を設定します。このグループに属するユーザがアクセスできるサーバ ポート (およびアクセスのタイプ) を指定します。
- IP ACL を設定します。この機能は、IP アドレスを指定することで、KX II-101-V2 デバイスへのアクセスを制限します。この機能は、特定のグループに属するユーザにのみ適用されます。このデバイスに対するすべてのアクセス試行に適用され、優先される、IP アクセス制御リスト機能とは異なります。(オプション)
- [OK] をクリックします。

▶ **新規ユーザを追加するには、以下の手順に従います。**

- [User] (ユーザ) ページを開くには、[User Management] (ユーザ管理) の [Add New User] (新規ユーザの追加) を選択するか、[User List] (ユーザ リスト) ページの [Add] (追加) ボタンをクリックします。
- [Username] (ユーザ名) フィールドに、一意のユーザ名を入力します (最大 16 文字)。
- [Full Name] (フル ネーム) フィールドに、ユーザのフル ネームを入力します (最大 64 文字)。
- [Password] (パスワード) フィールドにパスワードを入力し、[Confirm Password] (パスワードの確認) フィールドにパスワードを再入力します (最大 64 文字)。
- [User Group] (ユーザ グループ) ドロップダウン リストからグループを選択します。このリストには、システムによって定義されているデフォルト グループのほか、ユーザが作成したすべてのグループが表示されます。デフォルト グループには、[<Unknown>] (不明) (デフォルト設定)、[Admin] (管理者)、[Individual Group] (個別グループ) があります。
このユーザーを既存のユーザー グループに関連付けない場合は、ドロップダウン リストから [Individual Group] (個別グループ) を選択します。個別グループの許可の詳細については、
- 新しいユーザを有効にするには、[Active] (アクティブ) チェックボックスをオンにします。デフォルトはアクティブ状態 (有効) です。
- [OK] をクリックします。

ターミナル エミュレーション プログラムを使用して KX II-101-V2 を設定する (オプション)

管理シリアル コンソールを HyperTerminal のようなターミナル エミュレーション プログラムと共に使用して、KX II-101-V2 の次の設定パラメータを設定できます。

- IP アドレス
- サブネット マスク アドレス
- ゲートウェイ アドレス
- IP 自動設定
- LAN 速度
- LAN インタフェースモード

KX II-101-V2 でターミナル エミュレーション プログラムを使用するには、まず付属の RS-232 シリアル ケーブルを使用して KX II-101-V2 の管理ポートと PC の COM ポートを接続する必要があります。

手順を説明するために、このセクションではターミナル エミュレーション プログラムに HyperTerminal を使用しています。任意のターミナル エミュレーション プログラムを使用できます。

▶ **ターミナル エミュレーション プログラムを使用して KX II-101-V2 を設定するには、以下の手順に従います。**

- KX II-101-V2 をローカル PC に接続します。
- KX II-101-V2 の Admin ポートと PC の COM1 ポートを接続します。
- 使用するターミナル エミュレーション プログラムを起動し、KX II-101-V2 を設定します。
- ターミナル エミュレーション プログラムで次のポート構成を設定します。
 - ビット/秒 - 115200
 - データ ビット - 8
 - パリティ - なし
 - ストップ ビット - 1
 - フロー制御 - なし
- KX II-101-V2 に接続します。ログイン ページが開きます。
- 管理者ユーザ名を入力して、Enter キーを押します。パスワードの入力を確認するプロンプトが表示されます。
- デフォルトの管理者名「*admin*」を入力して、Enter キーを押します。パスワードの入力を確認するプロンプトが表示されます。
- Admin Port > プロンプトで、「*config*」と入力して、Enter キーを押します。
- Config > プロンプトで、「*network*」と入力して、Enter キーを押します。
- 新規ネットワーク設定を設定するには、Network (ネットワーク) のプロンプトで、「*interface*」と入力し、その後次に次のいずれかのコマンドとその適切な引数 (省略可能) を入力して Enter キーを押します。

コマンド	引数	[Options] (オプション)
ipauto	none dhcp	<p>none - デバイスの IP アドレスを手動で指定できます。次の例に示すように、このオプションの後に ip コマンドと IP アドレスを続ける必要があります。</p> <pre>interface ipauto none ip 192.168.50.12</pre> <p>dhcp - 起動時に、IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。</p> <pre>interface ipauto dhcp</pre>
ip	IP アドレス	<p>デバイスに割り当てる IP アドレス。初めて IP アドレスを手動で設定するときは、ipauto コマンドと none オプションと共にこのコマンドを使用する必要があります。詳細については、「ipauto」を参照してください。IP アドレスを手動で割り当てたら、ip コマンドを単独で使用して IP アドレスを変更できます。</p>
mask	サブネット マスク	<p>コマンド列は “interface” でなければなりません。</p> <pre>interface ip ... interface mask サブネット マスク IP アドレス interface gw ゲートウェイ IP アドレス interface mode </pre>
gw	IP アドレス	<p>ゲートウェイ IP アドレス</p>
mode	mode	<p>Ethernet モード。次の選択肢があります。</p> <p>auto - ネットワークに応じて速度とインタフェースを自動で設定します。</p> <p>10hdx - 10 Mb/s、半二重。</p> <p>10fdx - 10 Mb/s、全二重。</p>

コマンド	引数	[Options] (オプション)
		<p>100hdx - 100 Mb/s、半二重。</p> <p>100fdx - 100 Mb/s、全二重。</p>

設定が正常に変更されると、次のような確認メッセージが表示されます。

```
Admin Port > config
Admin Port > Config > network
Admin Port > Config > Network > interface ipauto
none ip 192.168.50.126
Network interface configuration successful.
```

KX II-101-V2 の設定を完了したら、コマンド プロンプトで「Logout」と入力し、Enter キーを押します。コマンドライン インタフェースからログアウトされます。

デバイスのリセット (必要な場合)

デバイスを出荷時設定にリセットする必要がある場合にのみ、リセット機能を使用します。

注:出荷時設定にリセットする前に、監査ログを保存しておくことを推奨します。出荷時設定にリセットされると、監査ログが削除されます。また、リセット イベントは監査ログに記録されません。

▶ デバイスをリセットするには、以下の手順に従います。

1. KX II-101-V2 の電源を切ります。
2. 先端の尖った道具を使用してリセット ボタンを押し続けます。
3. リセット ボタンを押したまま、KX II-101-V2 の電源を入れ直します。
4. リセット ボタンを 10 秒間押し続けます。

その他の情報

KX II-101-V2[™] および Raritan 製品ラインナップ全体の詳細については、Raritan の Web サイト (www.raritan.co.jp) を参照してください。技術的な問題については、Raritan のテクニカル サポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカル サポート窓口については、Raritan の Web サイトの「Support」セクションにある「Contact Support」ページを参照してください。

Raritan の製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、オープンソースコードのコピーを要求できます。詳細については、Raritan の Web サイトにある「Open Source Software Statement」(<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>) を参照してください。